

監査 地域コミュニティーの育成を踏まえて、職員と自治会関係者が研修視察した事業については、速やかに協議し、早いうちに事業を推進されたい。

回答 研修後、自治会長へアンケート調査を実施しました。地域コミュニティ活動交付金について、自治会長連絡協議会と協議する予定です。

監査 防災関係については、浸水など水の危険度の高い松田中学校周辺の住民や生徒の避難場所を、近年のゲリラ豪雨などを考慮して、検討されたい。

回答 酒匂川・川音川の氾濫における浸水想定区域や、土砂災害（特別）警戒区域に基づいた、災害に応じたマップを作成するよう努めます。



▲震災に加え、数十年に一度の集中豪雨など重大災害にも備える消防団員

監査 防災倉庫については、倉庫内の備品などが年々増えていることから、倉庫内に入らない状況が出てきているため、必要な物は何かを模索し、食糧などに切り替えることも視野に入れて、防災活動の一助に努められたい。防災倉庫内の備品などについてはデータ化し、維持管理に努

め、他の自治会で防災備品が必要になった場合、融通し合うことができるよう、努められたい。

回答 各自主防災組織と連携し、自主防災会所有物品と、町所有物品のデータを一元化し維持管理に努めます。

監査 消防団員の災害発生時の出勤は、危険と隣り合わせである。災害発生時の出勤の危険手当については、出勤手当と別に出せるか検討されたい。

回答 消防団の活動について、危険度に応じた手当の見直しを検討します。

監査 役場駐車場については、住民が役場来庁時に利用できないということがないように、適正に管理されたい。現在、ハローワーク利用者が役場駐車場を利用しないように、定期的に注意を促しているが、今後も引き続き適正な管理を行い、町内の有料駐車場への誘導呼び掛けにも努められたい。

回答 役場駐車場に駐車するハローワーク利用者に対しては、現在、ハローワークから利用が増える予想される行事を報告させて、重点的に町職員が注意を促しておりますが、ハローワークには、警備員を付けるなどの改善を求め、引き続き適正管理に努めます。

監査 松田町外二ヶ町組合配分金や土地賃付金のチェックメイト分については、土地の一部返還や単価の減額などの申し入れがあった場合を踏まえて、町の方向性についても十分精査し取り組まれたい。

回答 来年度契約更新のため、速やかに町の方針を固め、相手方と交渉をします。

監査 町営住宅の再編に伴う新たな町営住宅の建設については、経済的な予算で建てるよう鋭意努力されたい。

回答 毎年多額の借地料を払っていることから、対象地の返還を重点的に進めます。住宅建設に関しては公営住宅整備基準ののつとった仕様の中で、低廉化が図

れるよう努めます。

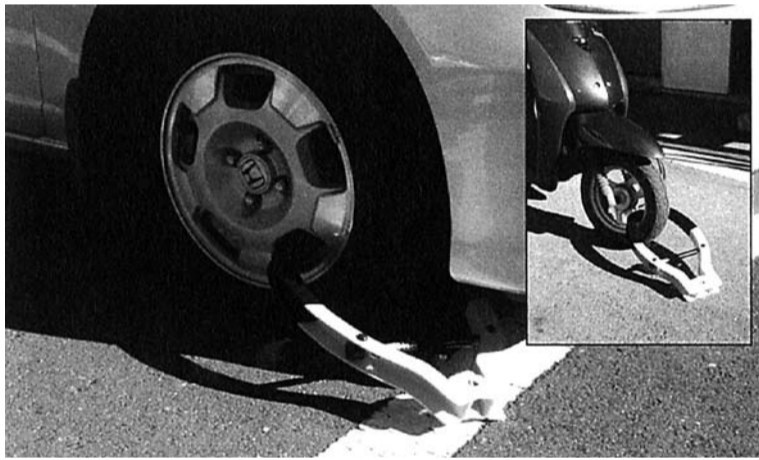
監査 寄地区憩いの家跡地の返還状況については、毎年度借地料が発生していることを誠実に受けとめ、本年度中には解決されたい。

回答 土地所有者と交渉を継続し、解決に向け努力します。

● 税務住民課

監査 町税などの滞納者については、誰が見ても分かるような資料を作成しておくよう努め、時効による不納欠損処理を極力なくすよう努められたい。

回答 現在、事由、徴収行為、取り組み、交渉内容について、システムに個人ごとに入力していますが、より詳細に入力をし、誰が見ても分かるよう努めます。



▲町税などの滞納整理強化に向け、タイヤロック装置を導入しました

監査 町税については、収入未済額が1億円に近いことを踏まえ、職員一同十分認識して滞納徴収業務に強く取り組まれたい。また、町税全体の約6%が未収金であることも併せて認識し、鋭意努力されたい。

回答 職員は、滞納額を1円でも多く収納することで、諸事業の一般財源に活用できることを認識しています。このことから財産の差し押さえなどの滞納処理を積極的に行うとともに、新たな滞納者を出さないよう、現年度の滞納整理にも力を入れていきます。

監査 滞納対策については、四半期ごとの分析を常に見据えて実施するよう、努められたい。また、調定額と収入済額を常に把握し、併せて収納対策に努められたい。

回答 月報などを活用し、前年度との比較など分析を行い、徴収にあたります。

監査 収納対策の基本的な取り組みについては、住民の意識改革にあることを捉えて取り組まれたい。収納事業については、住民にも周知し、町の収納状況を広く周知することで、住民の意識改革に反映されたい。

回答 町広報などを活用し、苦しくとも納期限内にきちっと納めていただいている方との公平性を考え、滞納すると延滞金が加算され、さらに納めない方には滞納処分されることや、納税に困っている方のための納税相談も随時行っていることなどを併せて周知してまいります。

監査 国保診療所事業については、患者数の減少を踏まえ、多面的な角度から調査・分析を推進されたい。今後、診療所については、建物の老朽化や機器の更新期を迎えるにあたり、それを考慮した運営を図られたい。

回答 年々減少傾向にある患者数については、広報などにより診療所利用への周知と理解に努めます。診療所の備品については、26年度の自動車の更新に始まり、以後、毎年、エックス線撮影装置などの備品の更新の時期を迎えることから、基金を活用しながら計画的に更新してまいります。また、施設の老朽化に対応するため、計画的な基金の積み立てを行ってまいります。

● 健康福祉課

監査 健康福祉センター入浴施設の利用状況については、固定的な利用者が多々あると聞く。より多くの町民の利用を願うとともに、利用実人員から稼働日数を見直すなど、ランニングコストと無料の利用者状況などを踏まえて、調査・分析し、収支バランスを検討されたい。

回答 利用料金については、利用状況を調査して議論を重ねてきましたが、結論には至っていません。来春、消費税が増税されることが想定されるため、入浴施設の利用状況、経費などを分析し、収支均衡の方策を検討します。

監査 後期高齢者健康診査の受診率が低い。そのため、受診率を上げる手法を検討されたい。また、医療費を抑制することも踏まえて、受診率を高める努力をされたい。

回答 町の特定健診の受診率は県下平均と同じですが、後期高齢者を対象とする後期高齢者健康診査の受診率は特定健診に比べて低くなっています。一病息災の意識のある高齢者に対しては、循環器系疾患の重症化防止を啓発し、特に、後期高齢者に受診勧奨を重ね、受診率の向上に努めます。

監査 介護保険料については、滞納者の財産や居住などの状況を分析し、それらの状況を認識したうえで徴収対策に努められたい。また、課を横断して他の課と情報を共有し、徴収に取り組まれたい。

回答 滞納者の財産などの状況については、関係各課と協議し滞納整理に対応します。

